

釜石湾活用の夢次々

希望セミナー
最終回 まちづくり探る



地域づくりの夢を語り合い、釜石の未来像を探ったセミナー

でのまちづくり支援の実例や調査成果を紹介し「都市の魅力は文化があるからだ。文化や人を引きつけるものを常に考えなければならぬ。釜石の中に存在するいろいろなまちがそれぞれ光を持つと強くなる」と強調した。

市内で地域活動などに取り組む四人が活動を報告し、「廃校を利用して芸術家が集う海のアトリエをつくりたい」「まちづくりの核になるセンスのある人がIターンできる仕組みがほしい」などとそれぞれの「未来構想」を語った。

釜石地方振興局、釜石市主催のミナトマチ釜石希望セミナーは十七日、釜石市内のホテルで開かれた。釜石湾の未来を考

える三回シリーズの最終回で、市民ら約百十人が参加し「釜石湾の活用とまちづくり」をテーマに地域再生への方策を探った。

湾口防波堤によって

できた釜石湾静穏水域の活用をまちづくりに生かそうと企画。東京大社会科学研究所の希望学プロジェクトが協力した。

東京大学大学院新領域創成科学研究科の北沢猛

岩手日報
2008年1月19日